経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

静岡県　御殿場市

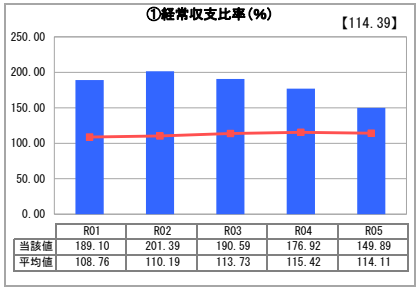
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m³/日)	類似団体区分	施設数	１日平均配水量(m³)
法適用	工業用水道事業	7,156	極小規模	1	2,563
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**給水先事業所数**	**契約水量(m³/日)**	**管理者の情報**	
-	93.5	12	3,664	非設置	

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

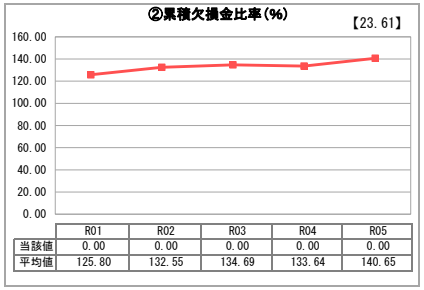
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【114.39】



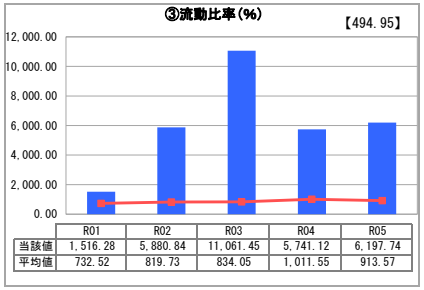
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	189.10	201.39	190.59	176.92	149.89
平均値	108.76	110.19	113.73	115.42	114.11

②累積欠損金比率(%)　【23.61】



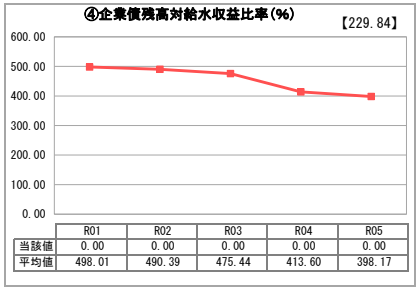
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	125.80	132.55	134.69	133.64	140.65

③流動比率(%)　【494.95】



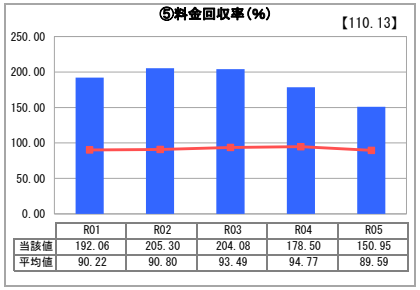
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	1,516.28	5,880.84	11,061.45	5,741.12	6,197.74
平均値	732.52	819.73	834.05	1,011.55	913.57

④企業債残高対給水収益比率(%)　【229.84】



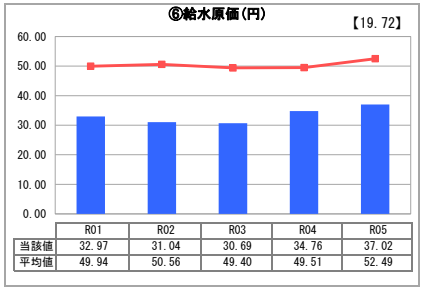
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	498.01	490.39	475.44	413.60	398.17

⑤料金回収率(%)　【110.13】



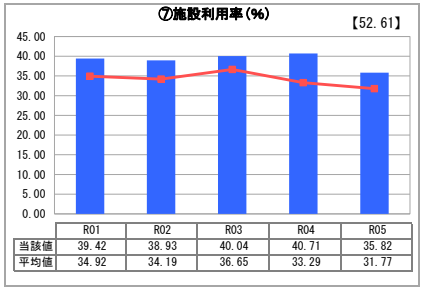
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	192.06	205.30	204.08	178.50	150.95
平均値	90.22	90.80	93.49	94.77	89.59

⑥給水原価(円)　【19.72】



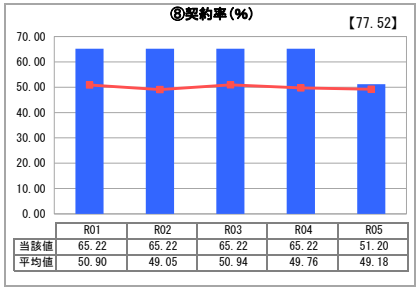
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	32.97	31.04	30.69	34.76	37.02
平均値	49.94	50.56	49.40	49.51	52.49

⑦施設利用率(%)　【52.61】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	39.42	38.93	40.04	40.71	35.82
平均値	34.92	34.19	36.65	33.29	31.77

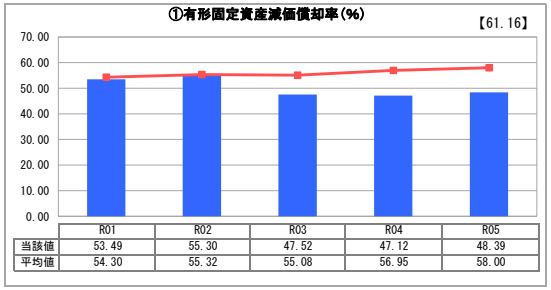
⑧契約率(%)　【77.52】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	65.22	65.22	65.22	65.22	51.20
平均値	50.90	49.05	50.94	49.76	49.18

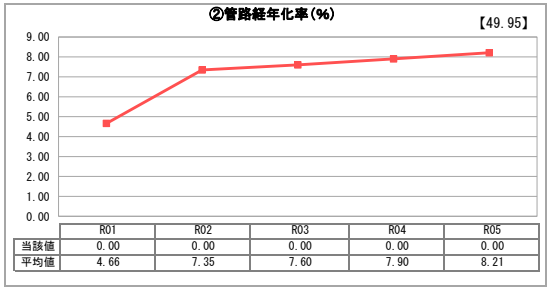
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【61.16】



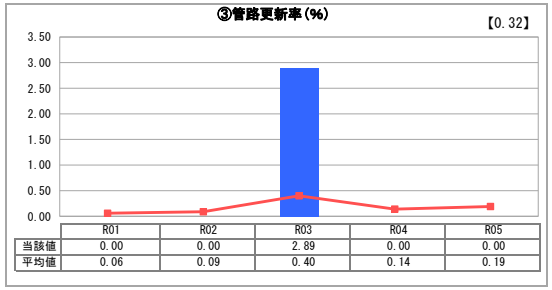
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	53.49	55.30	47.52	47.12	48.39
平均値	54.30	55.32	55.08	56.95	58.00

②管路経年化率(%)　【49.95】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	4.66	7.35	7.60	7.90	8.21

③管路更新率(%)　【0.32】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	2.89	0.00	0.00
平均値	0.06	0.09	0.40	0.14	0.19

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超えており、類似団体平均値より高い数値を維持しています。収支は黒字であり、更なる更新投資等に充てる財源が確保されており、健全な運営を続けています。
②累積欠損金比率は0%になっており、営業活動による損失は発生していません。
③流動比率は、類似団体平均値より高い数値となっています。１年以内の支払債務に対して現金が十分にあることを示しています。
④企業債残高対給水収益比率については、企業債を返し終えているため0%となっています。
⑤料金回収率は類似団体平均値より高く、給水に係る費用が給水収益で賄えています。類似団体平均値より高い理由は、施設規模が小さく、また、施設自体が新しいため、維持管理費が抑えられているためです。経常収支比率と同様に収支は黒字であり、更なる更新投資等に充てる財源が確保されており、健全な運営を続けていると考えられます。
⑥給水原価は類似団体平均値と比較して、やや安価な状態を維持しています。今後施設の老朽化により費用が増加することで、給水原価が増加することが予想されます。
⑦施設利用率は、類似団体平均値より高い数値を維持しており、施設の利用状況や規模は類似団体と比べて適正な状態であると考えられます。
⑧契約率は、昨年度より減少し類似団体平均値に近い値となっています。これは、令和５年７月に１事業所が廃止となったことが要因です。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、昨年度に引き続き、全国平均・類似団体平均値より低い数値となっています。
②管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路がまだ存在しないため、0%となっています。
③<補足>管路更新率の当該値が表示されていませんが、正しくは、R1（9.49）、R2（2.06）です。
管路更新率は、当年度に更新した管路が存在しないため、0%となっています。経常収支比率が高く、更新等の財源も十分にあるといえるため、引き続き、計画的な老朽管の更新に努めます。

全体総括

経営の健全性・効率性について、現状は引き続き良好と考えられますが、今後、老朽管の更新などに対して費用が増加することが考えられます。令和５年度中に１事業者が廃止となり、今後事業者の増加の見込みも薄いことから、収益の減少が考えられます。そのため、計画的な給水収益の確保と老朽管の更新に努め、将来の更新需要に備えてまいります。